

## 21 年産夏野菜の生産・出荷状況と今後の見通しについて

## 夏はくさい

## 1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

## (1) 出荷計画

出荷計画の前年比、平年比

単位：トン

出荷計画と必要入荷量	7月	8月	9月
長野県本部	25,689	25,234	40,474
ホクレン	1,631	3,603	5,214
群馬県本部	1,230	780	980
その他対象県計	0	0	0
対象県以外合計	16,870	15,180	21,260
計画全国計(A)	45,420	44,797	67,928
前年実績全国計(B)	45,198	43,467	66,499
過去3年実績全国計(C)	45,929	44,917	66,358
前年比(%) (A/B)	100%	103%	102%
平年比(%) (A/C)	99%	100%	102%

## (2) 出荷状況と販売経過

1 週間ごとの入荷状況の比較

単位：トン

20 年	6/30-7/5(6)	7/7-7/12(5)	7/14-7/19(6)	7/22-7/26(5)
入荷数量	2,079	2,396	2,514	2,161
21 年	6/29-7/4(6)	7/6-7/11(5)	7/13-7/18(6)	7/21-7/25(5)
入荷数量	2,613	2,170		
前年比	126%	91%		

※1 週間ごと（括弧内は営業日数）の全国主要都市の卸売り市場入荷数量の合計  
長野県産は、昨年が遅れ気味のスタートで 6 月は平年より少ない出荷量だったの  
に対し、今年は平年並みのスタートとなった。7 月に入っても引き続き順調な出荷  
となり、6 月 29 日の週の出荷数量は前年を大きく上回った。

価格は 6 月 22 日の週から下げ始め、6 月 29 日の週の後半から 7 月 6 日の週の  
前半にかけての卸売価格は長野県産 15kg6 玉入り 500 円と大きく低迷した。

7 月 6 日の週の後半から長野県産は出荷抑制に動いたこともあり 7 月 13 日の卸売  
価格は 800 円とややもちなおしたが依然として安値で推移した。

なお、長野県産（長野県本部）の7月10日出荷の数量は15kg換算で50,000ケース（前年比85%）だった。

## 2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し

中心産地の今後の出荷見通し

単位：トン

	7月下旬	8月上旬	8月中旬	8月下旬
長野県本部	8,700	8,500	9,300	10,900
前年比(%)	90%	103%	103%	102%
計画比(%)	90%	100%	100%	100%
ホクレン	645	920	1,050	1,570
前年比(%)	103%	108%	99%	101%
計画比(%)	99%	98%	97%	99%
群馬県本部	280	185	230	265
前年比(%)	101%	99%	101%	100%
計画比(%)	100%	100%	100%	100%
3道県見通し計(A)	9,625	9,605	10,580	12,735
3道県前年実績計(B)	10,572	9,291	10,326	12,465
3道県計画計(C)	10,552	9,582	10,575	12,760
前年比(%) (A/B)	91%	103%	102%	102%
計画比(%) (A/C)	91%	100%	100%	100%

長野県産は7月6日の週の後半から降雨がほとんどない状態が続き数量は減少傾向となった。高温期に入り病害の増加するリスクは高まるが雨が少ないこともあり、現在のところ平年に比較して生育は良好。7月中旬の階級発生率は2L11%、L84%となっている。

7月17日の降雨後、玉肥大し、生育日数の短縮がなされれば数量は回復する見込み。なお、長野県産（長野県本部）の7月17日販売出荷の数量は15kg換算で55,000ケース（前年比91%）だった。

また、北海道産については断続的な降雨の影響から生育遅れが一部にみられ8月出荷は計画をやや下回る見込み。群馬県産については生育良好。

7月18日の卸売価格は長野県産15kg6玉入り800～700円と引き続き安値の販売となっている。

今後の全体的な出荷数量は平年並みの水準に戻っていく見通しで、価格低迷が続く恐れがあり、引き続き拡販をお願いしたい。

## 夏秋キャベツ

### 1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

#### (1) 出荷計画

出荷計画の前年比、平年比

単位：トン

	7月	8月	9月	10月
群馬県本部	37,300	52,300	53,100	36,300
長野県本部	11,559	9,164	10,350	8,430
ホクレン	5,613	7,163	6,958	4,785
その他対象県計	11,382	8,704	8,260	10,523
対象県以外合計	49,900	38,050	39,400	58,360
計画全国計(A)	115,754	115,381	118,068	118,398
前年実績全国計(B)	111,674	114,624	119,487	118,531
過去3年実績全国計(C)	111,849	115,036	115,063	117,286
前年比(%) (A/B)	104%	101%	99%	100%
平年比(%) (A/C)	103%	100%	103%	101%

#### (2) 出荷状況と販売経過

1週間ごとの入荷状況の比較

単位：トン

20年	6/30-7/5(6)	7/7-7/12(5)	7/14-7/19(6)	7/22-7/26(5)
入荷数量	4,776	4,793	5,198	4,335
21年	6/29-7/4(6)	7/6-7/11(5)	7/13-7/18(6)	7/21-7/25(5)
入荷数量	4,646	4,904		
前年比	97%	102%		

※1週間ごと（括弧内は営業日数）の全国主要都市の卸売り市場入荷数量の合計  
 計画通り7月は前年より多目の出荷状況となっている。ただ6月29日の週は、群馬県産は前年より多かったが、関東産地が前年より切り上がり早く少なかったこともあり全体では前年を下回った。その後夏秋産地に切り替わり群馬県産のシェアが高くなって以降は前年を上回る出荷状況となっている。なお、群馬県産（群馬県本部）の7月10日出荷の数量は10kg換算で147,800ケース（前年比133%）だった。価格については、6月以降、卸売価格で群馬産10kg8玉入り800～700円と平年の価格より安い価格での販売が続いている。

### 2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し

## 中心産地の今後の出荷見通し

単位：トン

	7月下旬	8月上旬	8月中旬	8月下旬
群馬県本部	17,800	17,500	18,000	19,000
前年比(%)	111%	111%	103%	94%
計画比(%)	100%	100%	101%	103%
長野県本部	3,600	3,000	3,100	3,550
前年比(%)	101%	101%	101%	101%
計画比(%)	102%	100%	101%	100%
ホクレン	2,665	2,300	2,100	2,610
前年比(%)	92%	94%	93%	89%
計画比(%)	99%	97%	98%	0.98
熊本県経済連	2,050	700	700	700
前年比(%)	147%	165%	180%	147%
計画比(%)	117%	132%	135%	132%
4道県見通し計(A)	26,115	23,500	23,900	25,860
4道県前年実績計(B)	23,857	21,574	23,271	27,047
4道県計画計(C)	25,764	23,391	23,551	25,215
前年比(%) (A/B)	109%	109%	103%	96%
計画比(%) (A/C)	101%	100%	101%	103%

群馬県産（群馬県本部）の出荷数量は7月13日の週は日量10kg換算で15～16万ケースで推移。21日の週の後半には日量10kg換算で20万ケース前後の出荷となり、その後同様のペースで出荷の見通し。なお、今年のこれまでの累計出荷数量は前年より多いが平年よりやや少ないペースで推移した。また、群馬県産（群馬県本部）の7月中旬の階級発生率は、2L37%（平年25%）、L57%（平年67%）と大玉傾向となっている。今後は品種の切り替わりなどもあり大玉の発生率は落ち着く見込み。

長野県産（長野県本部）、北海道産（ホクレン）は計画に沿った出荷が見込まれる。熊本県産（熊本県経済連）については順調な出荷が見込まれる。

7月18日販売の卸売価格は、群馬県産10kg8玉入り700円と引き続き安値傾向で推移。

全体的に7月21日以降も出荷は順調な見込みなので、引き続き量販店での拡販などをお願いしたい。

## 夏秋レタス

### 1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

#### (1) 出荷計画

出荷計画の前年比、平年比

単位：トン

出荷計画と必要入荷量	6月	7月	8月	9月	10月
長野県本部	24,668	33,518	32,474	29,331	12,591
群馬県本部	4,450	4,340	4,120	3,110	1,590
その他対象県計	3,155	3,372	2,624	2,551	12,115
対象県以外合計	18,730	17,720	17,240	18,530	24,930
計画全国計(A)	51,003	58,950	56,458	53,522	51,226
前年実績全国計(B)	44,499	59,578	54,560	49,331	48,836
過去3年実績全国計(C)	50,173	58,285	55,552	56,169	51,201
前年比(%) (A/B)	115%	99%	103%	108%	105%
平年比(%) (A/C)	102%	101%	102%	95%	100%

#### (2) 出荷状況と販売経過

1週間ごとの入荷状況の比較

単位：トン

20年	6/30-7/5(6)	7/7-7/12(5)	7/14-7/19(6)	7/22-7/26(5)
入荷数量	2,481	2,587	2,409	2,587
21年	6/29-7/4(6)	7/6-7/11(5)	7/13-7/18(6)	7/21-7/25(5)
入荷数量	2,542	2,337		
前年比	102%	90%		

※1週間ごと(括弧内は営業日数)の全国主要都市の卸売り市場入荷数量の合計

6月の出荷状況は、少なかった昨年に比較して順調に推移した。価格は、6月22日の週から下げ始めた。6月29日の週の後半には一時出荷が集中したこともあり、卸売価格は長野県産10kg16玉入り500円と大きく下げた。

その後、長野県産は自主調整により出荷の抑制に動いたこともあり、7月13日の卸売価格は800円とやや回復したが依然として安値推移となった。

なお、長野県産(長野県本部)の7月10日出荷の数量は10kg換算で100,000ケース(前年比91%)だった。また、長野県産(長野県本部)の7月上旬の販売数量は、平年より少なかった前年をさらに下回る結果(前年比96%)となった。

## 2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し

中心産地今後の出荷見通し

単位：トン

	7月下旬	8月上旬	8月中旬	8月下旬
長野県本部	13,000	10,300	11,750	12,200
前年比(%)	94%	104%	104%	104%
計画比(%)	95%	100%	100%	100%
群馬県本部	1,680	1,450	1,440	1,230
前年比(%)	101%	116%	107%	111%
計画比(%)	100%	100%	100%	100%
ホクレン	520	490	470	479
前年比(%)	97%	96%	91%	103%
計画比(%)	97%	98%	98%	99
3道県見通し計(A)	15,200	12,240	13,660	13,909
3道県前年実績計(B)	15,982	11,672	13,192	13,331
3道県計画計(C)	15,836	12,228	13,673	13,910
前年比(%) (A/B)	95%	105%	104%	104%
計画比(%) (A/C)	96%	100%	100%	100%

長野県産は7月6日の週の後半から降雨がほとんどない状態が続きやや小玉の傾向になった(7月中旬の階級発生率は2L6%、L92%)。平年に比べ降雨が少なめに推移していることもあり、病害等は少なく順調な生育である。

長野県産(長野県本部)は7月6日の週の後半から出荷抑制に動いたこともあり出荷数量は10kg換算で10万ケースを下回る推移となった。7月17日販売の出荷数量は10kg換算で90,000ケース(前年比90%)だった。

7月17日に適度な降雨があり7月21日の週の後半には日量10万ケースを上回って平年並みの出荷量に戻る見通しである。

7月18日販売の卸売価格は、10kg16玉入り1200円とまだ平年よりは安いものの平年並みの価格に戻りつつある。

また、群馬県産の生育状況は天候に恵まれ(適度な降雨)順調推移。北海道産については、定植後の低温の影響で一部生育遅れがみられ、6月の天候不順、7月の断続的な雨の影響から7月から8月にかけて計画を下回る出荷見通し。

全体的な出荷量は平年並みかやや少なめで推移しているものの平年より安い価格での推移が続いている。引き続き量販をお願いしたい。

## 夏だいこん

### 1. 出荷計画と出荷状況及び販売経過

#### (1) 出荷計画

出荷計画の前年比、平年比

単位：トン

出荷計画と必要入荷量	7月	8月	9月
ホクレン	17,031	21,037	22,469
青森県本部	6,248	5,471	6,529
その他対象県計	6,230	6,007	7,539
対象県以外合計	44,400	46,620	59,390
計画全国計(A)	73,909	79,135	95,927
前年実績全国計(B)	74,344	77,554	92,402
過去3年実績全国計(C)	73,244	79,406	97,407
前年比(%) (A/B)	99%	102%	104%
平年比(%) (A/C)	101%	100%	98%

#### (2) 出荷状況と販売経過

1週間ごとの入荷状況の比較

単位：トン

20年	6/30-7/5(6)	7/7-7/12(5)	7/14-7/19(6)	7/22-7/26(5)
入荷数量	2,912	2,943	3,309	2,564
21年	6/29-7/4(6)	7/6-7/11(5)	7/13-7/18(6)	7/21-7/25(5)
入荷数量	2,793	2,701		
前年比	96%	92%		

※1週間ごと(括弧内は営業日数)の全国主要都市の卸売り市場入荷数量の合計

6月から7月前半にかけては、千葉県産のきりあがり及早かったことや、北海道産が5、6月の低温や7月以降の雨など天候不順により遅れていたこと、青森県産も5、6月の低温など天候不順の影響で少な目の推移となったことにより、全体的な入荷数量は前年を下回り価格も平年並みか平年を上回る推移となった。

### 2. 現在の出荷・販売状況と今後の見通し

7月18日の卸売価格は北海道の10kg2Lで800-700円、Lで900-800円と平年を下回る水準での販売となっている。今後遅れていた北海道産が集中して出荷となることも予想される。拡販をお願いしたい。